

令和2年度第1回富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議

日 時： 令和2年4月23日（木）13:30～15:00

場 所： 富山県民会館 8階バンケットホール

説明事項：（1）令和2年度 富山県4月補正予算案について

（2）国の中小企業振興施策等について

（中部経済産業局、富山労働局）

委員からの主な意見（要旨）

- ・ コロナ対策予算は「当面実施すること」「続けて実施すること」「収束後に実施すること」とメリハリをつけて発表すべき。
- ・ 中小企業の資金繰りはひっ迫しており、雇用調整助成金を受付から支給まで速やかに支給してほしい。
- ・ 雇用調整助成金の問合せが急増。小規模事業者には申請手続きが困難だが、相談窓口は非常に混雑。身近な場所に分散してほしい。
- ・ 製造業への影響はまだ大きく出ていないが、もう少し先、おそらく6月7月に顕在化する。支援をお願いしたい。
- ・ 経済への影響は、長期化が予想される。継続した支援を。
- ・ 休業要請について中小企業や個人事業主にわかりやすく周知してほしい。また、どこに相談すればよいか明確にしてほしい。
- ・ ハローワークに雇用関係の相談をしたいが、現在、非常に混雑。一般に周知する方法はないか。
- ・ 制度融資について、市町村長の認定手続きに事務上は2～3日かかる。経済産業省の所管だが、資金繰り支援のためスピードアップを図る必要があるならば、事後確認で対応することを検討してもよいのではないか。
- ・ 生活が困窮した高校生への支援が予算案にあるが、大学生も支援してほしい。コロナの影響でアルバイトができず、厳しい状況にある。
- ・ 大学生の就職活動で、大手企業はオンラインに対応しているが、中小企業は情報が取得しづらい。採用人数も減少傾向にあり、就職支援を。
- ・ 小規模事業者やフリーランスからの労働相談が増加している。持続化給付金の支給に、早急に取り組んでいただきたい。
- ・ 各種支援制度について、新型コロナの影響で、説明会の開催が困難となっている。関係機関が連携して情報提供をしていきたい。